

本日から学校が再開されました。

文責 学校長



~うつらない・うつさない生活の維持を~

1 今日から学校が再開されました。引き続き感染予防の意識は維持し続けてください。

本日から学校再開となりましたが、まだまだ感染が終息したわけではありません。状況によっては再び臨時休校措置になることも覚悟して今日からの一日一日、一時間一時間の授業及び家庭学習を大切にしましょう。ただし、これまでどおり自宅での毎朝の検温、登下校時（電車内は特に）及び授業時のマスク着用、こまめな手洗いは続けてください。

2 県の高校総体は中止となりましたが、最後まで部活動も頑張りましょう。

残念ながら全国に続き県の高校総体も中止となりました。特に3年生においては春からの公式戦も悉く中止となり、目標を失って、悔しい思いで心の整理もつかない状況だと思えます。しかし、その思いやこれまで培ってきた技術を是非後輩の1・2年生にしっかりと伝え、残された期間に君たちの足跡をしっかりと残してください。

3 学力向上の鍵はスマホの使用時間を1日30分以内に抑えられるかにあります。

昨日までの休校期間中にスマホや学習用PCでゲームやYouTube、SNSのやり取りに一日の多くの時間を費やしていた人はいませんか。実は、今週の一冊で紹介している『スマホが学力を破壊する』の著者・川島隆太医学博士（『脳トレ』の開発者）の研究によれば、スマホの使用を1日30分以内に抑えられるかどうかが学力向上の鍵（ターニングポイント）となるようです。川島博士は「スマホをやめるだけで偏差値が10上がります。」とまで言い切っています。毎日3時間以上家庭で学習しているのになかなか偏差値が上がらないと悪戦苦闘してきた諸君、是非この本を読んで高校時代のスマホとの付き合い方を真剣に考えてみましょう。

4 今週のお話成語・・・「三顧の礼」

【問題】このお話成語を英語で表現すると？ ※裏面に解答あり。

仕事などを受けてもらうために、礼を尽くして何度も訪問することをいいます。もとの意味では、目上あるいは年上の方が、目下あるいは年下の人に対して礼を尽くすことを指します。しかし現在では、上下関係にかかわらず、ある人を特別に信任したり、優遇する条件で仕事を依頼することを表します。（出典：歴史書『三国志』より）

【由来】古代中国の歴史書『三国志』の『蜀書』の中の「諸葛亮伝」に書かれた故事が由来となっています。

三国時代の蜀（しょく）の皇帝である劉備玄德（りゅうびげんとく）が、無官の諸葛亮孔明（しょかつりょうこうめい）の能力を見込んで、軍師（参謀長）に招くためにみずから出向きますが、一度目と二度目は会えず、三度目にやっと会えて懇願し、口説き落とされたという故事が「諸葛亮伝」に書かれています。そこから「人に何かをお願いするために礼を尽くす」ことをこの故事にならって「三顧の礼」と表するようになりました。日本ハムの栗山監督がメジャー行きを表明していた花巻東高校の大谷選手を口説き落とされた時も「三顧の礼」を尽くしたと言われています。

5 今週の名言・・・福沢諭吉（大分県出身）の言葉です。

○社会共存の道は、人々自ら権利をまもり幸福を求むると同時に、他人の権利幸福を尊重し、いやしくもこれを侵すことなく、もって自他の独立自尊を傷つけざるにあり。

○賢人と愚人との別は、学ぶと学ばざるによって出来るものなり。

【解説】「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」で始まる福沢諭吉の著書『学問のすすめ』の中の言葉です。『学問のすすめ』は、1872年から刊行が始まりました。生まれながらに上下の差はないのに、貧富の差や身分の差ができるのは、学問があるかないかが原因と説明しています。庶民でも買いやすく、17冊に分けて1冊の値段を安くしたり、漢字には読み仮名を振ったりして、たくさんの読者を得、300万部のベストセラーとなりました。

【福沢諭吉について】慶應義塾（旧：蘭学塾、現在の慶應義塾大学はじめ系列校）の創設者であり、商法講習所（のちの一橋大学）、神戸商業講習所（のちの神戸商業高校）、伝染病研究所（現：東京大学医科学研究所）、土筆ヶ岡養生園（現：東京大学医科学研究所附属病院）の創設にも尽力した。新聞『時事新報』の創刊者。ほかに東京学士会院（現：日本学士院）初代会長を務めた。そうした業績を基に「明治六大教育家」として列される。昭和59年（1984年）1月1日発行分から日本銀行券一万円紙幣の表面の肖像に採用されている。（参考：Wikipediaより）

6 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その1 ※今回からの新シリーズです。

漢字の学習にも効率的な学習方法があります。試験の時に覚えているはずなのに思い出せないという経験をした人はいませんか？そんな人のために今回から一字訓の読みの問題を20回にわたり出題していきます。チャレンジしてみよう。

◆ 漢字は一字訓と熟語をセットで考えると漢字を思い出すヒントになります。一字訓→熟語、熟語→一字訓の発想を。

- | | | | | |
|--------------|-----------|----------|----------|-----------|
| ①瞬く（瞬間） | ②疎んじる（疎遠） | ③囁く（囁声） | ④溢れる（充溢） | ⑤罵る（罵声） |
| ⑥疼く（疼痛） | ⑦脆く（脆弱） | ⑧凌ぐ（凌駕） | ⑨唆す（教唆） | ⑩茹でる（釜茹で） |
| ⑪呟く（独り言を呟く） | ⑫煽る（煽動） | ⑬滴る（水滴） | ⑭潜む（潜伏） | ⑮蒐める（蒐集） |
| ⑯訛る（訛言・お国訛り） | ⑰洩らす（漏洩） | ⑱虐げる（虐待） | ⑲截つ（截断） | ⑳浚う（浚渫） |

7 今週の一冊・・・今回は、川島隆太氏の「スマホが学力を破壊する」(集英社新書)です。

2010年より急速に普及したスマートフォンは日本人の生活に深く浸透し、街中を歩けばスマホを使う人を見かけないことのほうが珍しくなった。しかし、その使用に付帯するリスク、とりわけ子どもたちによる長時間使用の危険性や、成績に及ぼされる影響についてはあまり知られていない。本書は七万人の子どもたちを対象に、数年間にわたって行われた大規模調査の結果を基に、スマホやアプリの使用がもたらす影響を解明し、スマホ使用のリスクを正面から論じた、現代人、とりわけ全保護者必読の一冊である。

(本書表紙裏の解説より)

【解説】「スマホをやめるだけで偏差値が10上がります。」という刺激的な広告フレーズが目にとまり、引き込まれるままに読んでみました。仙台市の小中学生7万人の追跡調査から判明した、衝撃の真実とは？それは「脳トレ」の開発に携わった医学博士・川島教授が明らかにした、脳とスマホの驚くべき関係でした。「スマホを使えば使うほど学力が破壊されてしまう」「スマホを持つようになった生徒は成績が下がる」「スマホを使わなくなると成績が急回復する」「使用しているアプリの数が多いほど学力は低くなる」などなど。東北大学の川島隆太教授は、仙台市の中学生の生活・学習状況調査から、そうした警告を発しています。子供たちの「脳」に、なにが起きているのか。川島教授の分析によれば、「たとえ家で2時間以上勉強したとしても、携帯・スマホを3時間以上使ってしまうと、ほとんど家で勉強をしないけれども携帯・スマホを使わない生徒たちの方が、成績が良くなってしまふ」という驚くべき事実が科学的データを根拠として明らかにされました。生徒の皆さんもこの本を読んでスマホとの付き合い方を真剣に考えないと手遅れになりますよ。

【作者・川島隆太氏について】1959年千葉県生まれ。医学博士。東北大学加齢医学研究所所長。全世界でシリーズ累計販売数3300万本を突破した任天堂DS用ソフト「脳トレ」シリーズの監修者。著書は累計600万部を突破した「脳を鍛える大人のドリル」シリーズや『現代人のための脳鍛錬』、『さらば脳ブーム』など多数。(本書の著者紹介文より)

8 日本全県の名所とスイーツめぐり・・・第5回は大分県です。

○名所 (参考:「じゃらんnet」より)

◆九重“夢”大吊橋・・・鳴子川溪谷の標高777m地点に架かる、長さ390m、川床からの高さ173mの「高さ日本一」の人道専用吊橋。橋の上からは日本の滝百選に選ばれた震動の滝の雄滝や雌滝、紅葉で有名な九酔溪の絶景、また天気の良い日にはくじゅう連山の壮大な景観を眺めることができます。

◆青の洞門・・・菊池寛の「恩讐の彼方に」で有名。山国川本流に沿う樋田とのあいだは、競秀峰(きょうしゅうほう)の断崖がつらなり、鎖渡の難所といわれていた。享保のころ当地へ来た僧禅海が、この危険な棧道を見て衝撃を受け、仏者として大誓願をおこし洞門開削工事に取り掛かり、寛延3年(1750年)を中心に約30年の歳月をかけて完成したもので、削道の長さは約344m、うち隧道部分の延長が約144mである。但し、現在の洞門は、当時から大きく変化しており、明治40年には、ほぼ現在の洞門に近い形状で大改修が行われた。旧道は、明り採り窓や、洞門の一部を残すのみであるが当時のノミの跡が残っている。

○スイーツ・土産 (参考:「じゃらんnet」より)

【ざびえる】1551年、豊後の国にやってきた宣教師フランシスコ・ザビエルは大友宗麟の庇護を受け、キリスト教の教えを説いただけでなく病院や学校の建設にも貢献し、大分に南蛮文化の花を開かせました。「ざびえる」は、バター風味豊かな洋菓子風の生地には和風の白餡を包んだものと、ラムレーズン入りの白餡を包んだものの二種類があります。今も大分土産の定番です。

【やせうま】小麦粉で作った平たい麺状のものにきなこ砂糖をまぶして食べる大分の郷土料理。あたたかいまま、あるいは冷やして、甘いお菓子感覚で家庭でよく食べられます。「やせうま」というユニークな名称には諸説があり、一番有力な説は、平安時代貴族が乳母の八瀬に作られたもののおいしかったため「八瀬、うま」と乳母の八瀬にねだったためというものです。

9 保護者の皆様へ……今週の一冊は保護者必読の書です。

一斉臨時休校中のご家庭でのご指導ありがとうございました。休校期間中は毎日担任・副担任と生徒自身との双方向連絡をさせていただきましたが、学習時間に大きな差が生じているようです。本日紹介している本を是非お読みいただき、スマホが「成績下降の片道切符」にならないようにご家庭でのスマホ等の使用時間の管理をお願いします。

【表面の問いの答】

◆「showing special confidence and courtesy (to someone, often to convince them to take a post, etc.)」

※「confidence」は「信頼」「courtesy」は「礼儀・儀礼」「convince」は「説き伏せる」「post」は「役・役職」

①またたく②うとんじる ③ささやく④あふれる⑤ののしる⑥うづく⑦もろく⑧しのぐ⑨そそのかす ⑩ゆでる

⑪つぶやく⑫あおる ⑬したたる⑭ひそむ⑮あつめる⑯なまる⑰もらす⑱しいたげる ⑲たつ ⑳さらう